

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果 ー分析から見てきた成果・課題と今後の取組についてー

区 名 東淀川区

学 校 名 東井高野小学校

学校長名 北代 聡

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・東井高野小学校では、第6学年 67名

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語では全国・大阪市の平均正答率より約7ポイント、算数では全国・大阪市の平均正答率より約4ポイント低くなっている。平均無解答率は、国語は大阪市平均より1.8ポイント、全国平均より0.5ポイント高く、算数は大阪市平均より0.9ポイント、全国平均より0.6ポイント高かった。無解答率については、平均正答率の本校と大阪市との開きの割合に比べて、国語で4割近く大きくなっており、抜本的な対策を講じる必要がある。

児童質問紙では、自尊感情や自己肯定感などでは肯定的な回答が多く見られる。一方、学習については、宿題はしているが家で予習・復習を含めた学習の計画を立てて勉強することや、読書時間などに課題があり、学校と家庭との連携が必要である。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕学習指導要領の内容に関しては、調査実施全項目とも課題がみられる。特に、「情報の扱い方に関する事項」と「書くこと」については、重点的に取組をすすめる必要がある。朝のモジュール学習等で読み書きの基礎学力をつけるとともに、能動的に学習課題に向き合い、整理・分析・議論したことをもとに記述するなど「主体的・対話的で深い学び」を推進していく必要がある。

〔算数〕学習指導要領の内容に関しては、調査実施全項目とも課題がみられるが、特に「図形」領域については全国・大阪市との差が大きく、重点的に取組をすすめる必要がある。「図形」領域の基礎的・基本的な知識及び技能を高めるために、観察や構成などの活動を多く取り入れることで、児童が意欲的に学習に向かう環境を整える必要がある

質問紙調査より

「学校に行くのは楽しい」に肯定的な回答が93.8%、「自分には良いところがある」に肯定的な回答が85.4%、「将来の夢や目標を持っている」に肯定的な回答が81.5%で、全国・大阪市より、最も肯定的な回答を含め肯定的な回答の割合が上回っている。児童が、充実した学校生活を実感できたり、それらの経験から自尊感情や自己肯定感などが高まったりした経験を、学習面にも広めていく必要がある。学習については、「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」に肯定的な回答は63.1%で、全国の70.7%より低い。また「読書は好きですか」では79.2%で全国の71.8%より高い結果が出た一方、授業以外の読書時間が30分未満の児童の割合が66.1%で全国の62.6%より高く、全く読書をしない児童の割合も全国より4.7ポイント多い。児童の読書を含めた「学ぶこと」への前向きな意欲を、実際の行動力につなげていくことが本校の課題である。

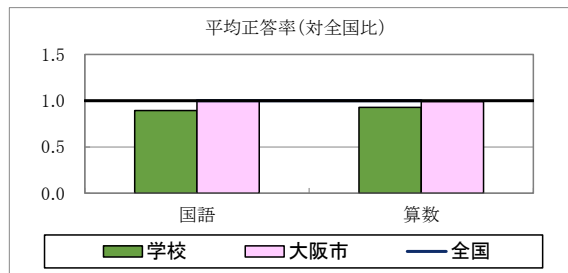
今後の取組(アクションプラン)

- ・国語・算数における基礎・基本の習得を確実なものにするため、朝のモジュール学習を設定して、研究部が作成した系統性を持った学習プリント全学年で継続して行う。
- ・国語科を中心とした学習において、自分の考えをまとめたり要点を簡潔に書いたりする「主体的・対話的で深い学び」を取り入れた授業の推進を図り、論理的思考の育成をする。
- ・一人一台端末やデジタル教科書などの更なる活用を図る。算数科においては「図形」の学習で、図形の多面的な見方を習得するなど、ICT機器の長所を活かしていく。
- ・「ブロック化による学校支援事業」の新聞の活用をはじめ、「図書館ボランティア」「読み聞かせ隊」など、地域・PTAと連携しながら、子どもたちが主体的に読書や活字に親しむ機会を設ける。
- ・家庭学習(自主学習ノート『プラスノート』)の充実に取り組む。

【 全体の概要 】

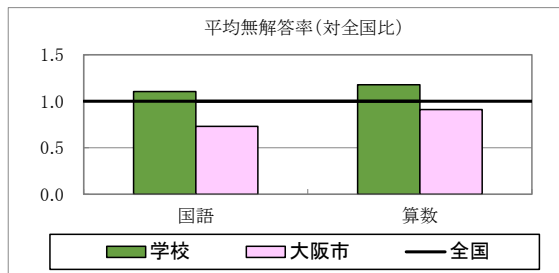
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	60	58
大阪市	67	62
全国	67.2	62.5



平均無解答率（％）

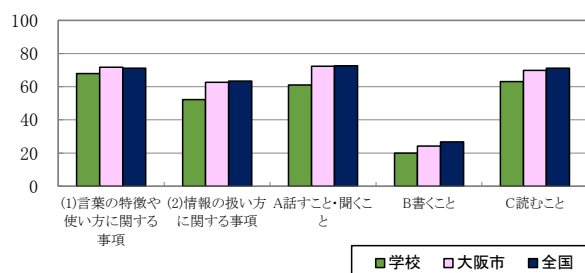
	国語	算数
学校	5.3	4.0
大阪市	3.5	3.1
全国	4.8	3.4



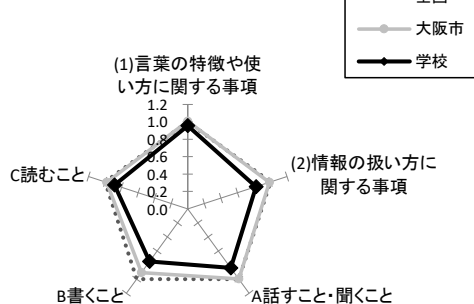
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	5	68.0	71.7	71.2
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	52.3	62.6	63.4
(3)我が国の言語文 化に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	3	61.0	72.4	72.6
B 書くこと	1	20.0	24.2	26.7
C 読むこと	3	63.1	69.9	71.2

国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



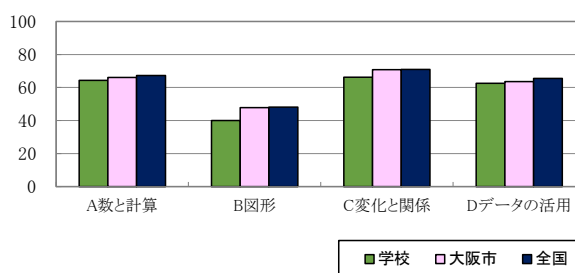
国語 領域別正答率(対全国比)



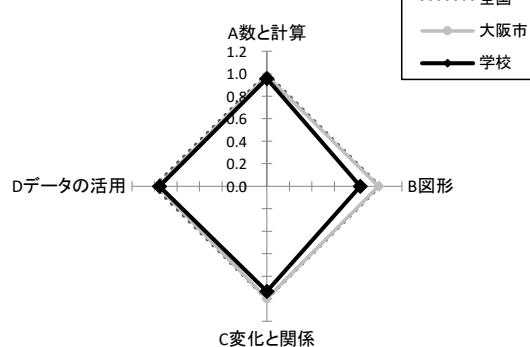
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	64.4	66.1	67.3
B 図形	4	40.0	47.8	48.2
C 測定	0			
C 変化と関係	4	66.2	70.8	70.9
D データの活用	3	62.6	63.6	65.5

算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



算数 領域別正答率(対全国比)



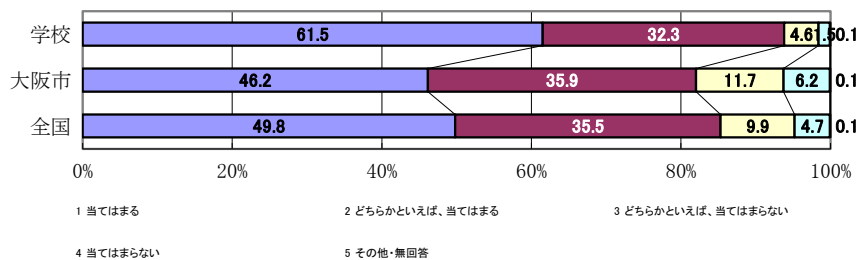
児童質問紙より

質問番号
質問事項

12

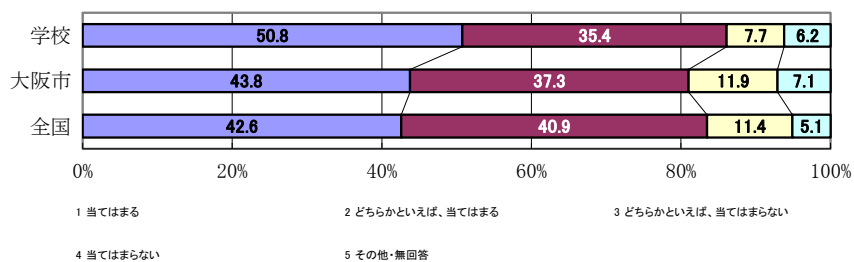
学校に行くのは楽しいと思う

1 2 3 4 5 6 7 8



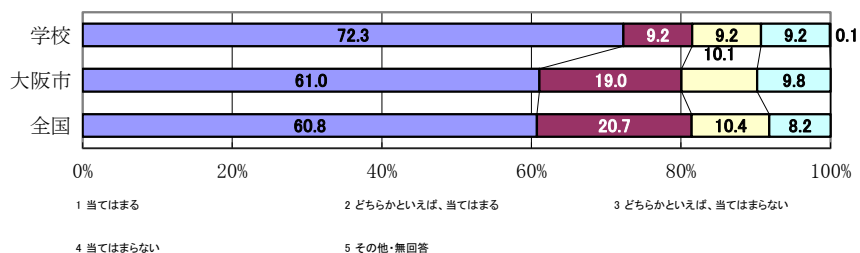
4

自分には、よいところがあると思う



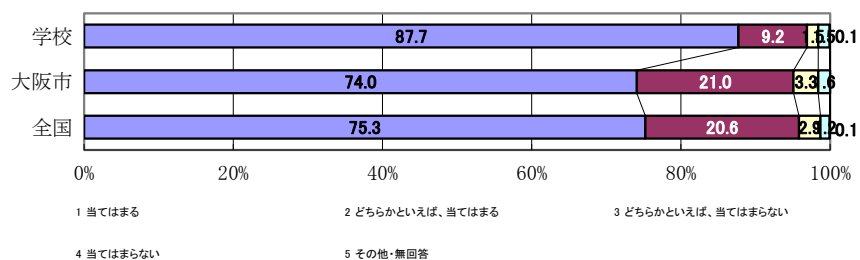
7

将来の夢や目標を持っている



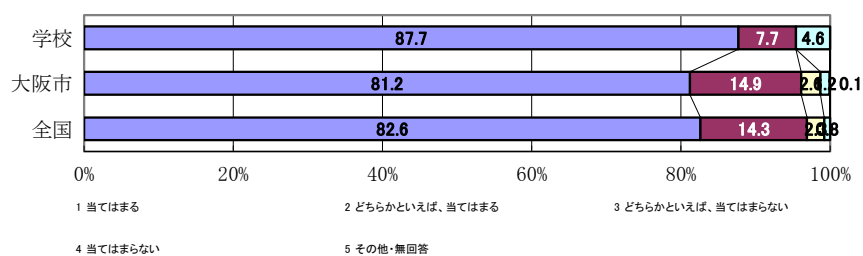
11

人の役に立つ人間になりたいと思う



9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う



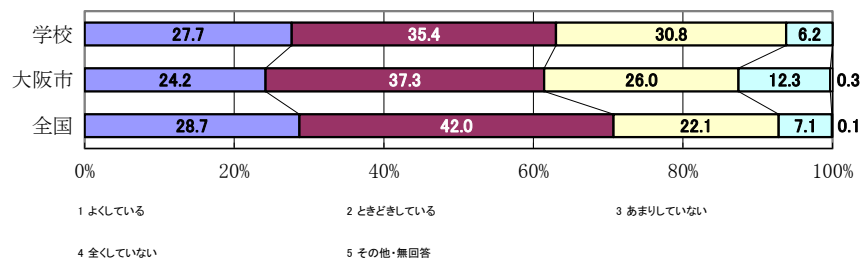
児童質問紙より

質問番号
質問事項

16

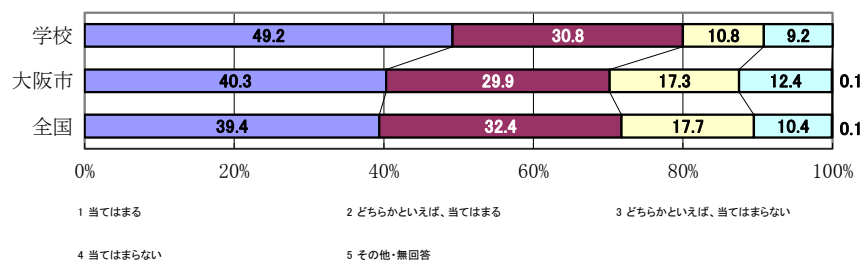
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含みます)

1 2 3 4 5 6 7 8



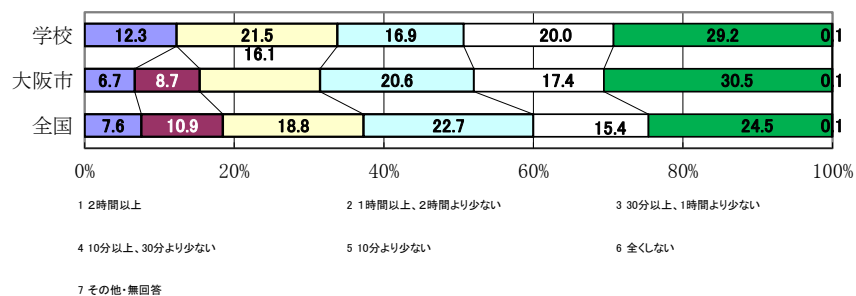
24

読書は好きですか



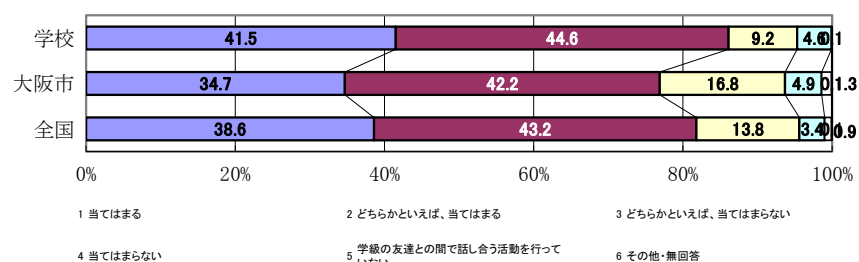
20

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を行いますか(電子書籍の読書も含みます。教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます)



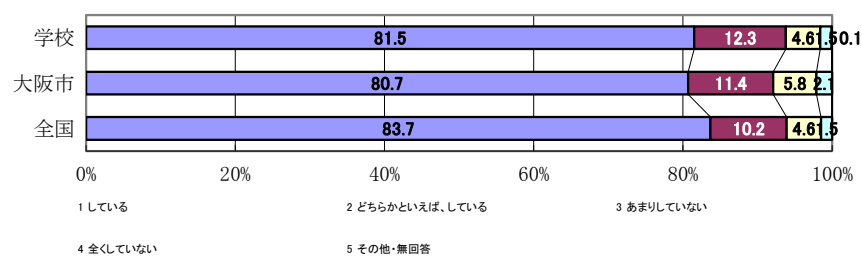
36

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか



1

朝食を毎日食べている



学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

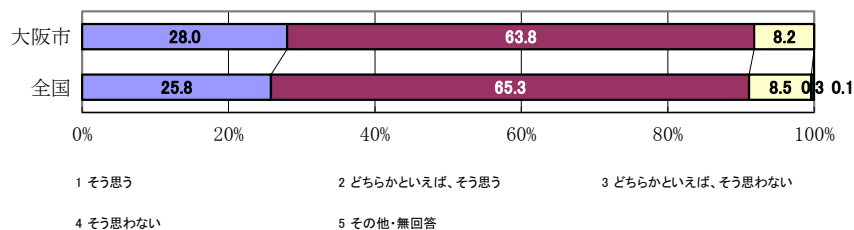
質問番号

質問事項

8

調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強している

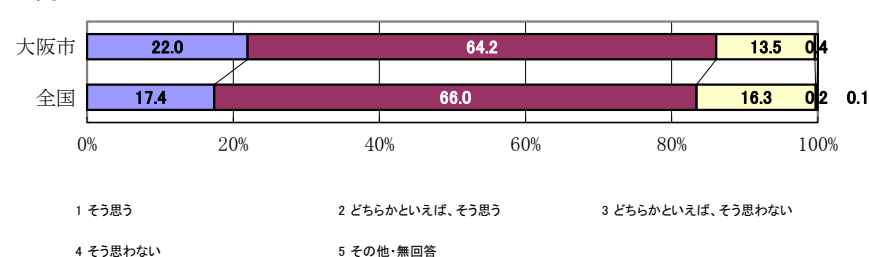
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



29

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている

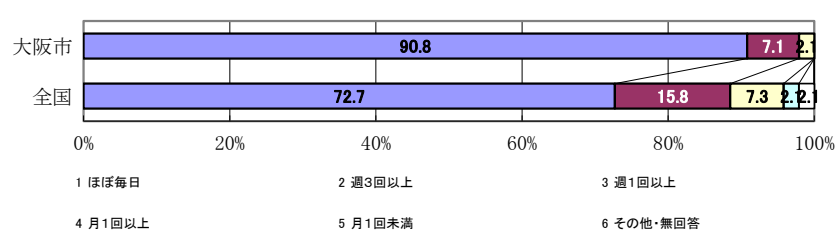
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



52

前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

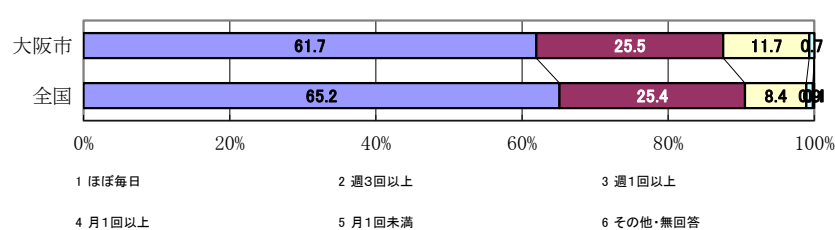
学校 「ほぼ毎日」を選択



55

調査対象である第6学年の児童に対する、前年度までのICT機器の活用状況として、あなたの学校では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択



16

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

学校 「一部取り入れている」を選択

